

個人情報保護委員会（第191回）議事概要

- 1 日時：令和3年11月10日（水）14：30～
- 2 場所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：丹野委員長、小川委員、中村委員、浅井委員
加藤委員、藤原委員、梶田委員、高村委員、
福浦事務局長、佐脇審議官、三原事務局次長、西中総務課長、
栗原参事官、鴨参事官、片岡参事官、松本研究官

4 議事の概要

- (1) 議題1：第43回世界プライバシー会議（GPA）結果報告について
事務局から、資料に基づき報告を行った。

浅井委員から「本年のGPAでは、DFFTやデータ保護機関間の執行協力など、重要なテーマが議論された。基調講演やパネルセッションへの登壇のほか、各セッションでの議論においても、DFFTを始めとした委員会の取組や考えを発信する等、昨年以上に積極的な参画が行われ、GPAでの委員会のプレゼンスを着実に示せていると考える。引き続き、各ワーキンググループでの活動等にも力を入れ、GPAにおける様々な国際的な議論及び活動に貢献していきたい」旨の発言があった。

麻田専門委員から「新型コロナウイルスに係る対応は、依然として世界的に重要な関心事項であり続けており、浅井委員から言及があったほか、今回のGPAではこの点に関するパネルディスカッション枠が設けられ、議論がなされた。国内においてもワクチン接種証明書に関する対応は特に関心が高く、同事項を含め世界的な情勢を把握するためにも、今後もGPAを通じて新型コロナウイルスに関する国際的な議論に参画し続けることが重要と考える」旨の発言があった。

丹野委員長から「GPAという、個人情報保護分野における世界最大規模の会議の場において、今回の様に委員会のプレゼンスを示せたことは非常に有意義である」旨の発言があった。

- (2) 議題2：日EU相互認証に係る共同レビュー会合の結果報告について
事務局から、資料に基づき説明を行った。

丹野委員長から「本日御欠席ではあるが、大島委員に大変に御尽力いただいたことにまずは謝意を申し上げたい。今回の会合では、大島委員と欧州委員会のレンデルス委員の間で、双方のレビュー作業が順調に進んでいること、更には、高い個人情報保護の水準にある日本とEUが、日EU間のみならず、様々な場で協力関係を一層強化することが確認されたと承知している。この日EU間の連携は、我が国の推し進めているDFFTの実現にも資

するものであり、今後も協調していくことが重要である。レビューはその基礎となるものであり、本年中のレビュー完了に向けて、残された論点については、事務局においてEU側とよく調整をし、必要な作業を迅速に進めていきたい」旨の発言があった。

以上